

さいたま市民医療センターにて心不全でご加療中の方へ

当センターでは心不全で入院された方を対象に、心不全薬物治療の使用状況調査を行っています。心不全薬物治療の現状を正確に把握することは、今後患者さんのより良い治療介入に貢献すると考えられます。

【研究課題】

当センターの心不全患者に対する心不全標準治療薬（GDMT）の導入状況とその傾向

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 さいたま市民医療センター

研究責任者 薬剤科 薬剤師 中村真梨（主任）

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析・学会発表

【研究期間】

許可されてから 2026 年 3 月 31 日まで

【対象となる方】

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに当院循環器病棟（4 階南病棟）で入院加療された心不全患者さんが対象です。

【研究の意義】

国内外の心不全診療ガイドラインでは RAS 系阻害薬・ARNI/ β 遮断薬/MRA/SGLT2 阻害薬はみなクラス I の推奨となっています。しかし、日常診療における GDMT の導入は患者背景によって必ずしも実施できない状況もあります。他施設での調査を参考に当センターでの心不全標準治療薬の使用を把握することで、今後の循環器病棟での心不全薬物治療の質向上やより良い治療介入に貢献できると考えております。

【研究の目的】

高齢患者の多い当院での心不全標準治療薬（GDMT）の導入率を把握し、その傾向や問題点、今後の課題を把握する。

【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先まで 2025 年 9 月 1 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後1年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら下記問い合わせ先までお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2025 年 5 月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 薬剤科 中村眞梨

住所：埼玉県さいたま市西区島根 2 9 9 - 1

電話：048-626-0011